

日時：令和元年(2019年)7月9日(火) 16:00～17:00

場所：市役所 3-3 会議室

欠席委員：なし

傍聴者：1名

事務局

開会

委員長

委員長挨拶

委員

委員自己紹介

<各委員自己紹介>

市側出席者

市側出席者紹介

<市側職員紹介>

企画経営部長

諮問

委員長

傍聴要領確認

傍聴に関しては、「宝塚市行政評価委員会傍聴要領」のとおり運用することよろしいか。この委員会は原則として公開、傍聴を認めている。定員については、会場の大きさなどを考慮し原則として10名程度とするが、状況に応じて柔軟に対応したいと考える。

また、議事の内容によっては非公開とする場合があるが、よろしいか。

委員

異議なし。

委員長

本日、傍聴者はいるか。

事務局

本日の傍聴者は1人いる。

委員長

審議概要について

審議概要について、事務局より説明をお願いします。

事務局

<審議施策、審議日程、その他の資料説明>

委員長

前年度評価について

では、前年度評価について事務局より説明をお願いします。

事務局

<前年度指摘事項に対する対応状況の説明>

・評価全体に関して

内部評価については、施策評価表を見ても各事務事業の内容が見えにくい等のご

指摘をいただいた。また、昨年度は施策評価を行う室長・次長級の職員を対象に、評価の充実を目的とした研修が初めて実施されたが、引き続き評価に対する意識改革と、評価力の向上のための取組を進めるようご助言をいただいた。

これを受け、今年度も施策評価を行う室長・次長級を対象に説明会を実施した。引き続き評価の更なる充実に向けて取り組んでいく。

「総合計画の推進に向けて」については、「施策展開の方針」の数が多い故に、評価の作業を困難にしている等のご指摘をいただいた。指摘内容を踏まえ、令和3年度よりスタートする第6次総合計画の策定作業を行っていく。

・個別施策分野での指摘事項について

昨年度は、「防犯・交通安全」「土地利用」「市街地・北部整備」「住宅・住環境」「道路・交通」「河川・水辺空間」「上下水道」の7施策分野について審議を行った。

指摘に対する市の主な対応として、施策「防犯・交通安全」において、ヘルメット着用の努力義務化の普及ための取組を検討する必要がある、という指摘に対しては、市民に3年間ヘルメットを貸与し、ヘルメット着用の普及と自転車の安全利用に努めてもらう市民モニター制度を開始した。

施策「上下水道」において、上下水道事業は、将来的には広域連携の取組を検討する必要がある、という指摘に対しては、兵庫県水道事業のあり方懇話会の中で、すでに広域連携について協議を行っている。

その他、昨年度に適切な指標が設定されていないという指摘に対して、新たに指標の設定・変更を行った。

事務局

模擬評価

今年度の審議対象施策である「循環型社会」を用いて模擬評価を行う。評価の際の進め方や、評価にあたっての視点などを、委員会の中で確認、共有していただくことで、次回以降の審議に生かしていただくことを目的として実施する。

委員長

この委員会では、施策や施策方針の展開に掲げられている狙いが実現しつつあるのか確認していく。

総合計画に記載してある内容を実現するための手段として事務事業がある。各部署は施策の指標の推移と事務事業の構成を踏まえ、施策が順調に進んでいるか自己評価を行っている。その自己評価や、今後の対応の内容が適切であるかチェックしていく。評価表に記載されている内容に矛盾等ないか確認をお願いしたい。

さらに、施策展開へのアイデアや、記述・指標は適切か、市民との役割分担はこれでいいのか等、ご意見をいただきたい。施策を実現するために、事務事業の構成は正しいのか、という視点で見たい。

<模擬評価を実施>

模擬評価はここまでとする。次回以降のスケジュール等について事務局より説明をお願いする。

事務局

次回の第2回の委員会は7月23日（火）13時30分～16時00分、3-3会議室で開催する。審議対象は健康・福祉の「地域福祉」「健康」である。